

訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(編集部)

■ 2007年11月号

● Front-End

p.183 写真1, 右上ふきだし: 低ひずみ OP アンプ THS4031 → 低ひずみ OP アンプ OPA627, 入力 → 出力, 出力 → 入力

p.184 図3, IC₃の3番端子と R₁₄と R₁₅の接続線を結ぶ。同3番端子 GND(↓)をとる

p.185 右↑11行目: 入力雑音電圧密度が $11 \text{ nV}/\sqrt{\text{Hz}}$ … → 入力雑音電圧密度が $10 \text{ nV}/\sqrt{\text{Hz}}$ …

p.185 右↑5行目: … R₁を $1 \text{ k}\Omega$ とする … → … R₁を $2 \text{ k}\Omega$ とする …

p.185 右↑2行目: $\frac{\sqrt{4 \times 1.38 \times 10^{-23} \times 300 \times 1000}}{10^{-23} \times 300 \times 2000} \approx 4.1 \text{ nV}/\sqrt{\text{Hz}} \rightarrow \frac{\sqrt{4 \times 1.38 \times 10^{-23} \times 300 \times 2000}}{10^{-23} \times 300 \times 2000} \approx 5.8 \text{ nV}/\sqrt{\text{Hz}}$

p.185 図4: 二つある $\Delta\Sigma$ 変調からデシメーション・フィルタへそれぞれ矢印を引く

p.186 左↓4行目: $\frac{\sqrt{(12 \times 10^{-9})^2 - (4.1 \times 10^{-9})^2}}{(5.8 \times 10^{-9})^2} = 11.3 \text{ nV}/\sqrt{\text{Hz}} \rightarrow \frac{\sqrt{(12 \times 10^{-9})^2 - (4.1 \times 10^{-9})^2}}{(5.8 \times 10^{-9})^2} = 10.5 \text{ nV}/\sqrt{\text{Hz}}$

p.186 左↓7行目: …密度が $11 \text{ nV}/\sqrt{\text{Hz}}$ … → …密度が $10 \text{ nV}/\sqrt{\text{Hz}}$ …

p.186 中↓5行目: $11 \text{ nV}/\sqrt{\text{Hz}}$ … → … $10 \text{ nV}/\sqrt{\text{Hz}}$ …

● 連載 アナログ回路設計

p.192 右↓2行目: アナログ入力信号は… → A-D変換開始信号は…

p.198 表4-A: 電源/電流 [μs] → 電源/電流 [V/mA]

● 連載 合点! 電子回路入門

p.220 右↓10行目: $-j\pi/2 \rightarrow -\pi/2$

p.220 右↑11行目: $+j\pi/2 \rightarrow +\pi/2$

● Information プラス+

p.270 表1: OP07/BJTと OPA627/JFETを入れ替える